

地域福祉推進にかかる評価方法について

地域福祉推進にかかる評価方法

～市民とともに共有できる指標で、地域福祉の成果を測定～

1. 評価指標の役割

地域福祉の推進は、市や社会福祉協議会の取組、市民の皆さんの多様な主体の取組が合わさって実現できるものです。

本指標は、市民の皆さんとともに共有できる指標として設定し、市民の意識・行動の変化を追っていくことで、地域福祉推進の成果を測定しようとするものです。

2. 評価の方法

以下の4つの調査・指標により、地域福祉推進の成果を測定します。評価結果は、地域福祉推進協議会において報告し、継続的な改善に活かしていきます。

| 調査・評価の内容 | | 測定・把握する内容 | 頻度 |
|----------|--|-----------------------------------|---------|
| ① | 名張市シティプロモーション戦略の評価指標「まちへの熱量」 “なばらぶ指数” | → 市民のまちへの愛着度や活動意欲を測定 | 毎年実施 |
| ② | 名張市総合計画「なばり新時代戦略」にかかる市民意識調査 | → 子育て支援、医療体制、地域活動、生涯学習、健康等の満足度を測定 | 毎年実施 |
| ③ | 地域福祉の担い手のアンケート調査 | → 地域活動の担い手の意識・課題を把握 | 数年に1回実施 |
| ④ | 地域福祉にかかる市民アンケート | → 計画改定前に実施し、市民ニーズを把握 | 必要に応じて |

～なばらぶ指数を地域福祉(活動)計画の指標とする理由～

1. なばらぶ指数の定義と測定方法

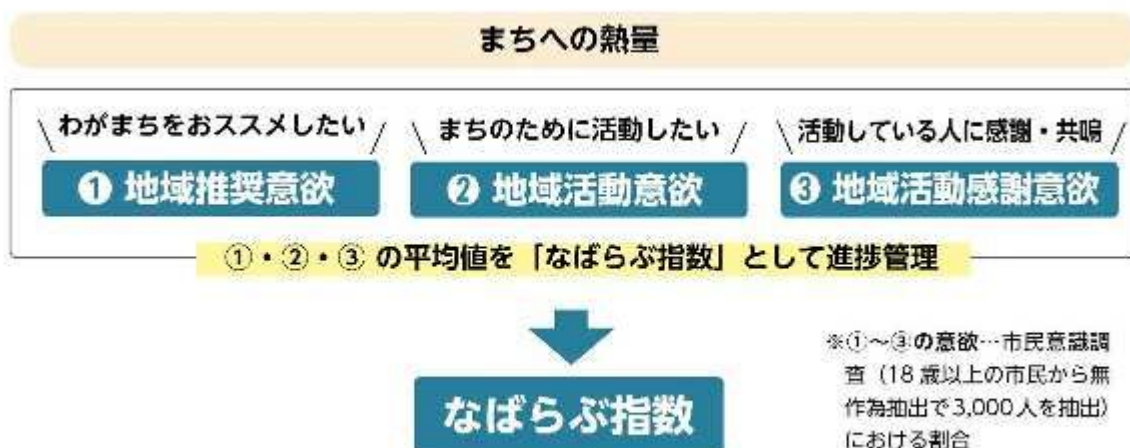
○定義

「なばらぶ指数」は、名張市シティプロモーション戦略で採用されている独自の指標で、市民の「まちへの熱量」を数値化したものです。具体的には、以下の3つの市民意欲を11段階評価(0～10)で測定し、その平均値を100段階評価(0～100)に変換したものです。

- **地域推奨意欲**:「わがまちをおススメしたい」という意欲
- **地域活動意欲**:「まちのために活動したい」という意欲
- **地域活動感謝意欲**:「活動している人に感謝・共鳴する」という意欲

○測定方法の特徴

なばらぶ指数は、単なる満足度調査ではなく、市民の**行動意欲**に焦点を当てています。これは、地域福祉推進に必要な「市民参画」「協働」「ネットワーク形成」といった要素を直接的に反映する指標として機能すると考えます。



2. 地域福祉(活動)計画との戦略的整合性

2-1. 共通目標:「つながり」と「参画」

名張市の第5次地域福祉(活動)計画は、以下の基本目標を掲げています

- **基本目標 1:** 多様な主体の参画と協働によるネットワークづくり
- **基本目標 2:** 「つながる」を意識しながら“人”と“組織”をはぐくむ
- **基本目標 3:** 誰もが「安心」や「つながり」を実感できる“場”“環境”づくり

一方、シティプロモーション戦略は「**まちの情熱サイクル**」を軸に、以下の段階を設定しています

1. **まちの魅力に気づく**
2. **まちを語りたくなる**
3. **まちに関わりたくなる**
4. **まちじゅうにつながりができる**

市民の「参画」「行動」「つながり」を通じて、地域の活力と持続可能性を実現しようとしている点で一致しています。

2-2. 「活動人口」の増加が地域福祉推進の鍵

シティプロモーション戦略では、人口減少対策として“「活動人口」の増加”を目指しています。これは、定住人口ではなく、まちに関わり、活動に参加する人の総量を増やすことを意味します。

この「活動人口」の増加は、地域福祉推進において極めて重要です。

- **地域福祉の担い手確保:** 福祉活動、地域づくり、見守り支援など、すべての地域福祉活動は市民の参画と協働で成り立つ
- **相互扶助の仕組みづくり:** 「つながり」と「支え合い」を実現するには、市民の行動意欲が不可欠
- **持続可能な地域社会の構築:** 高齢化・人口減少の中で、限られた資源を効果的に活用するには、市民の主体的な参加が必須

なばらぶ指数は、この「活動人口」の増加を直接的に測定する指標として機能するものと考えます。

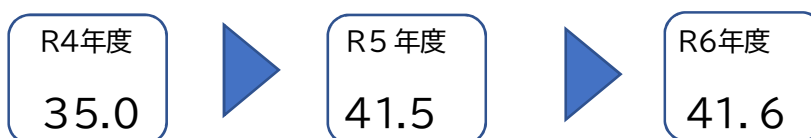
1. 全体指標「なばらぶ指数」(まちの熱量)は上昇傾向

～市民のまちへの愛着度や活動意欲～

(1)なばらぶ指数(まちへの熱量)の推移



(2)なばらぶ指数(まちへの熱量)(18～49歳)の推移



■ 市民の熱量:データから読み取れる「支え合い」の兆し

公共サービスの課題に対しては厳しい視線(地域推奨意欲の低下)を持ちつつも、それ以上に「まちのために何かしたい」「今、頑張っている人を支えたい」という内発的なエネルギー(地域活動意欲・感謝意欲の上昇)を強めています。

これは、行政への要望のみを追求するフェーズから、市民一人ひとりが「地域づくりの主体者」として覚醒しつつあることを示す、非常に力強いデータです。特に18～49歳の層において、この意欲が右肩上がりであることは、本市が目指す「持続可能な地域社会」の実現に向けた最大の希望と言えます。

この高まった「熱量」を逃さず、誰もが無理なく、楽しく福祉活動や地域貢献に参加できる「場」と「仕組み」を提供することが重要と考えます。この数値を、市民の皆様と共感し合いながら、次の地域福祉のステップへ繋げていきたいと考えています。

(3)なばらぶ指数(まちへの熱量)の内訳推移

| 気持ち | R4年度 | R5年度 | R6年度 | 評価 |
|-------------------------------|------|------|------|---------------|
| 地域推奨意欲 「わがまちをおススメしたい」 | 26.3 | 26.0 | 23.3 | 低下 |
| 地域活動意欲 「まちのために活動したい」 | 24.3 | 22.4 | 27.2 | 一時低下するも 上昇 |
| 地域活動感謝意欲 「活動している人に感謝・共鳴する」 | 67.6 | 77.2 | 80.4 | 高い水準で上昇 |

■ 地域推奨意欲が減少しているのは、市が財政状況が悪化していることを表明したのも原因の一つと考えられます。その一方で、地域活動意欲や地域活動感謝意欲は大幅に上昇しており、「なばらぶ指数」(まちへの熱量)は上昇傾向にあります。

(4)なばらぶ指数(まちへの熱量)(18～49歳)の内訳推移

| 気持ち | R4年度 | R5年度 | R6年度 | 評価 |
|-------------------------------|------|------|------|---------|
| 地域推奨意欲 「わがまちをおススメしたい」 | 26.0 | 24.2 | 22.7 | 低下 |
| 地域活動意欲 「まちのために活動したい」 | 21.3 | 21.3 | 26.6 | 上昇 |
| 地域活動感謝意欲 「活動している人に感謝・共鳴する」 | 57.6 | 79.1 | 75.2 | 高い水準で推移 |

■ また、活動人口増のターゲットとしている18歳～49歳に限ってみても、「なばらぶ指数(まちへの熱量)は上昇傾向にあることがうかがえます。

■ ただし、市内で分娩施設が無くなる、中学校給食実施の延長が決定されるといった状況が生じている中で、今後も、地域推奨意欲の減少が見込まれます。そうした中であっても、支え合いで何とかしていこうという機運を高めていくことで、地域活動意欲や地域活動感謝意欲の上昇を目指していく必要があります。

2. 基本目標別指標

名張総合戦略「なばり新時代戦略」にかかる市民意識調査

○基本目標1 多様な主体の参画と協働によるネットワークづくり

「行政課題に対する市民の関心と期待の表れ」

子育て支援(R5:68.5%→R6:55.6%)および医療体制への満足度が全世代・18～49歳ともに大きく低下しています。これは分娩施設や給食計画といった具体的施策への不安が反映されたものと推察されます。今後は、「行政が届かない場所を市民とどう補完し合うか」という視点での官民連携の再構築が急務です。

○基本目標2 「つながる」を意識しながら“人”と“組織”をはぐくむ

「『つながり』の再構築と担い手の孤立防止」

地域づくり組織への参加(全世代で52.1%)や近所付き合い(18～49歳で49.3%)が微減傾向にあります。数値の低下を悲観するのではなく、地縁組織にこだわらない「現代的なつながりの形」が求められていると捉え、新たな住民参画の場や手法を模索するフェーズにあります。

○基本目標3 誰もが「安心」や「つながり」を実感できる“場”“環境”づくり

「市民個人の『ウェルビーイング』を地域活動の源泉へ」

生涯学習への取組(44.5%)や健康実感(81.1%)は高い水準を維持しています。市民の個人的な充実感や地域福祉の「潜在的なエネルギー」であり、ボランティアのハードルを下げる仕組みや、活動の成果を可視化することで、個人の活動を「地域社会への貢献」へとスムーズに接続する仕掛けが鍵となります。

(詳細は次ページの指標一覧を参照)

| 対応する 基本目標 | 指標 | 全世代 (R5/R6) | | 18～49 歳 (R5/R6) | |
|------------------|---|-------------|----|-----------------|-----------|
| | | | 評価 | | 評価 |
| 基本目標 1 | 市内の保育施設や子育てサービス、相談窓口等の子育て支援に満足している市民の割合 | 68.5→ 55.6 | 低下 | 69.6→ 57.3 | 低下 |
| | 地域医療機関（開業医や公立病院等）での、現在の医療体制に満足している市民の割合 | 59.6→ 50.9 | 低下 | 62.4→ 47.3 | 大きく 低下 |
| 基本目標 2 | 地域づくり組織（地域づくり組織・区・自治会などの活動や地域ビジョンに掲げられている各種事業）に参加したことがある | 52.9→ 52.1 | 低下 | 32.1→ 31.2 | 低下 |
| | 隣近所との付き合いや交流がある | 61.6→ 57.6 | 低下 | 55.1→ 49.3 | 低下 |
| | 日頃の生活の中で、生きがいを感じている | 75.8→ 76.3 | 上昇 | 77.0→ 74.9 | 低下 |
| 基本目標 3 | 自らの人生を楽しく豊かにするために「生涯学習」といわれる自ら進んで行う学習や文化活動、趣味などに取り組んでいる。（生涯学習の成果を活かしたボランティア活動を含む） | 42.9→ 44.5 | 上昇 | 38.7→ 41.8 | 上昇 |
| | 現在、自分は健康である | 80.0→ 81.1 | 上昇 | 85.4→ 85.6 | 上昇 |
| 基本目標 4 5 6 | 現在、自分は精神的にも健康である。 | 80.5 | | 74.7 | |